



佐賀  
市制100周年  
1889-1989

市報

さが

No.624  
昭和63年

発行所 佐賀市役所(電話代表②3151)  
〒840 佐賀市栄町1番1号  
編集 市民相談室

1月号  
(毎月1日発行)

人口  
男女世帯  
169,854人  
80,652人  
89,202人  
55,119



題字は西村市長

頌  
春

# わがまちに、その風格を

第一回  
歴史懇話会

## 水と緑と歴史を皆の手で皆のものに

佐賀市は、現在進めている佐賀新風土づくり計画（アメニティ・タウン計画）で、市民とともに清流の復活や、緑の保護育成をめざしていますが、もう一つのテーマである市内の歴史的遺産の保全や整備について、専門家の意見を聴くため、歴史懇話会を設置しました。歴史懇話会は、前市長宮島剛氏の在任中、試行的な形で開かれていましたが、六十一年三月に策定された市アメニティ・タウン計画の一環として、このほど正式に発足するに至ったものです。

この懇話会は、学識経験者や関係団体代表からなる十名程度の委員、若干名の参与で構成され、委員の互選で定められる座長が、必要に応じて会議を招集することができます。第一回目の会合は、十一月三十日午後二時から、市役所庁議室で開かれました。佐大の杉谷昭教授が座長を務め、委員と参与からそれぞれに、次のような意見がだされました。

### 委員の方々の意見の概要

形として残るものだけが歴史ではない、佐賀人の精神風土を大切に、子々孫々に伝えていくべきだ。農業基盤整備で、次第に歴史の舞台が消えていくのが残念。同じ場所を一ヶ月おきに写真に収め、なくなっていく歴史の遺産を記録していくべきだ。佐賀の知的観光の構造づくりのため、方々に水や緑にくらべ、歴史の方はかなり立ち遅れている。佐賀のポイントをおくこと、人物で云えば徐福と散在している歴史遺産を結びつける必要がある。どれかにポイントをおくこと、人物で云えば徐福とか島義勇などに光をあてることも大切だ。よみがえれ佐賀展には、藩制時代の商人もとりあげてほしい。古賀銀行や中町の開業医、大坪書店附近の本陣あと、八戸に馬つなぎ場など史跡の保存や発掘に力をそいでもらいたい。観光案内にも、タクシーませにせず、沢山の人が佐賀のまちの案内人になってほしい。市の歴史民俗資料館も必要だ。

観光はつくりだすもの。飛驒高山の例もあるが、市内の旧家をリストアップして観光コースを定め、町並の保存に法的経済的な措置をとつてはどうか。佐賀のまちづくりについて考える場合、基本計画の背後にある思想がいまひとつはつきりしないところがある。佐賀人特有の気質がどのような構造をもつものか、その精神風土の発掘も、重要な命題の一つと思う。

旅行業の立場からすれば、底が浅いようであるが、歴史を観光対象物として、眼に見える嗜みくだいた形で残してほしい。郷土を愛するために郷土を知る、そうした機会は、子どもたちが小学生のころから、与えられることが必要だ。大隈重信や成富兵庫茂安の伝記を体験学習しながら、自然に親しめるような場所を整備してほしい。

### 参与の方々の意見の概要

佐賀にはシンボルがない。テレビに映して、一眼で佐賀と判るような風物がほしい。また、佐賀は、なによりも水濠の町である。クリークの町といわれる中國の鎮江などと姉妹都市を結んだらどうか。松原川もいいが、十間堀川を整備し、遊歩道をつくり、舟を浮べることもいいと思う。また、弘道館周辺町村と手を結んでほんとうに教育資料を展示。くどくなりなど民家の保存など、佐賀市という狭い範囲ではなく、昨年まで、開発と文化財の保存という矛盾の調整役をしてきたが、実は、この矛盾を矛盾と考えるのは我々の智慧が足りないとと思う。私はこれは、一時のな磨擦に過ぎないと考える。しかし佐賀のまちは、そのよさを新しい形でおおい隠してしまっている。シンボルロードにしても、よい家並をこわしている。造る人達は、もう少し考えなければならないし、そこに住む人達の参加をどうするかが問題だ。

観光のためには、総花的ではなく、メインになる計画をきめ、フリーオワシスなり九州村なり、核にならうなどのつくつもらいたい。六十年に博物館に着任以来、お客様にとつて魅力のあるものをと心掛けてきたが、今後は博物館にも語り部が必要になることある。かつての弘道館での献立で来場者をもてなすなど、いろいろなことを考へる必要がある。保存するだけでは魅力にならない。現在本庄公民館で行われている語り部教室は、意義深い活動だ。佐賀の龍造寺隆信にしても、その行跡は伊達政宗に劣らず、その比較においても興味深い存在と考える。郷土について知ることは、とりもなおさず郷土を愛することになると思う。

歴史懇話会の委員、参与のみなさんは、佐賀の歴史文化を保存する側とそれを活用する側、それをお願いします。



統一地方選挙（市役所で）

## 62年 1987 市政トピックス



西村市長初登庁

- 第15代市長に西村正俊氏就任
- 統一地方選挙行われる
- シェイプアップマイタウン計画策定
- シンボルロードづくりに着手
- 国鉄佐賀線廃止
- 総合文化会館建設に着工
- 下水道のふた（むつごろう）全国マンホールふた20選に入る
- 福祉タクシー制度の開始
- 第1回市民健康まつり行われる
- 佐賀女子高新体操団体優勝
- '87サガ・バルーンフェスタに17万人の観客
- 市道上高木～蛎久線（螢川橋）開通



おめでとう先輩!!



着々と進む総合文化会館建設工事



市民健康まつりで佐賀線を歩く



夢とロマンを求めて



### 年頭のごあいさつ



#### 市民生活の安定を

佐賀市議会議長  
木下祺一郎

ふりかえってみると、昨年は、新春早々から市長選挙、続いて春には統一地方選挙が行われ、私ども市議会も新しい構成となりました。この間、市民の方には大変お世話になりました。

一方、国内の政治面では五年余に亘り、国鉄、電気公社の改革など、多くの施策と取り組まれた中曾根内閣から、竹下内閣へと移行してまいりました。

国際的には、師走に入り、六年余に亘るねばり強い交渉を経て、画期的とも言える中距離核

市民の皆さん、あけましておめでとうございります。この新しい年、昭和六十三年が皆さま方にとりまして幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

これから社会は、国際化社会、高度情報化社会、高齢化社会になると言われています。そ

れに輝く佐賀市を創りあげようとするものであります。この一年活躍されることを心から願っています。

佐賀市制施行百周年を明年に控えて、昨年暮れ、二十一世紀へつなぐ「栄の國づくり」という基本理念のもとづく各種の記念事業に市民総参加を呼びかける提言を行いました。このことは、これまでの百年をのび、先人の心と私達の知恵を出しあって、人と街と自然が、生き生きと輝く佐賀市を創りあげようとするものであります。

今年は、戊辰（つちのえたつ）の年、龍は古来より開運、吉兆のシンボルであり、雲を得て昇天する躍動感はすばらしいと言うほかはありません。この龍のような勢いをもつて皆さんもこの一年活躍されることを心から願っています。

#### 新しいまちづくりを

佐賀市長  
西村正俊

私は、米さえもまきこんで迫る輸入の自由化や円高の問題など、実際にその道を歩き始めていることを身近に感じ取っています。その対応のためには、グローバルな思考なくしては日常生活さえ難しくなっていると同時に、自らが生活し、活動している地域社会や地方自治に対する期待感も、高まっているといえます。佐賀市は、佐賀ならではの住み心地良さを守り育てようと「佐賀新風土づくり」と名づけて快適な環境づくりに力を入れ、特に身近かな環境づくりには、市民の皆さんを中心になって、既に、その活動が始まっています。これは、二十一世紀の地域社会が、世界に開かれた、世界中の人々と直接交流を持つようになる反面、地域に対する信頼と愛着心が、さらに高まること、温かい人間関係と自然の中で人間らしい生き方を求める傾向が強くなるという動きに対して、すべき反応を見せていくとも言えましょう。

今年は、「街に『新しい風』を起きなければならぬ年です。新しい風とは、進む風であり、心を奮いたたせる風です。今、必要なことは、議論の段階を越えて、実践の時がきていくといふことです。年のはじめに、シンボルロードづくりを推進し、一本の線が、やがては、街全体の活性化に全面展開することを念じて、新年のごあいさつといたします。

戦力（INE）全廃条約に米・ソ両国間でそれぞれ署名され、人類が悲願とする核廃絶に向つて一步前進をみました。また、経済面では為替相場が初めて一ドル、百二十円台に急騰し、これが国内経済に及ぼす影響が心配されること、などが印象深いできごとありました。

これらを受け、本年もさらに激動の中に推移するものと思われますが、引き続き論議されおります税制改革は、地方財政に及ぼす影響も大きなものがあろうと予測されます。私ども議会は皆さんのご支援とご協力を仰ぎながら、市政の発展と市民生活安定のため努力してまいりたいと存じます。

私は、本年もより一層のご支援、ご協力を得て、本市が標榜する「活気あふれる水と緑の文化都市」が実現できますよう念じて、新年のあいさつといったします。



**母子家庭修学資金**  
市では、母子家庭や、両親がない子を養育している家庭に対し、生徒が高等、大学へ進学するための修学資金等の貸し付けを行いま

(三)請求者(父または母、その他養育者)の住民票が佐賀市にあること。  
なお所得制限がありますので限度額を超える場合は受給できません。

4月2日以降の生まれであること。

(二)2番目の児童が昭和57年4月2日以前に生まれていてください。

(一)18歳未満の児童が2人以上いること。

(用)からはじめます。市の一  
般事務は1月4日

今年も市報さがご愛読いた  
だき、市政にご理解とご協力をお願いします。

一日目からも現在受給されていない方で、次のすべての要件に該当される方は、市役所⑯番窓口で児童手当の請求をしてください。

返済は卒業してからでよく、無利子です。受付は1月7日(木)から始  
め、就学支度金が2月19日(金)まで、修学、修業資金は3月4日(金)まで行います。市社会課児童福祉係⑰番窓口へお申し込みを。くわしくは内線385へどうぞ。

町内の健脚が競う

日時 1月31日(日)午前10時スタート 場所 鍋島中学校周辺

第36回佐賀市校区対抗駅伝大会

'87.1 校区対抗駅伝大会にて

### 昭和63年度保育所(園)の入所(園)受付

各保育所(園)では、今年4月から入所(園)される子供さんの受付と面接を下記日程で行います。入所(園)希望の子供さんは同伴のうえ、受付時間(午前9時半から午後3時まで)内にお出かけください。

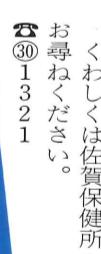


1月	保育所(園)名	住 所	電話番号
11日(月)	乳児保育所	堀川町2-4	24-5426
	城西保育園	西与賀町厘外1421	24-2881
12日(火)	巨勢保育園	巨勢町牛島425-12	26-4247
13日(水)	成章保育所	成章町5-21	29-1025
	嘉瀬保育園	嘉瀬町荻野65	24-0047
14日(木)	川原保育所	川原町4-44	23-3549
	光明保育園	蓮池町蓮池282	97-0118
18日(月)	城東保育所	田代一丁目4-39	23-3482
	高木保育園	若宮三丁目25-2	30-4188
19日(火)	尚賢保育園	鍋島町郷久1254	30-6664
20日(水)	城北保育園	高木瀬町長瀬655	30-7363
21日(木)	清光保育園	吳服元町5-18	23-3590
22日(金)	城南保育園	本庄町袋126-1	23-1912
25日(月)	日新保育園	長瀬町2-18	26-9429
26日(火)	愛の泉保育園	水ヶ江六丁目12-1	26-0435
27日(水)	鍋島保育所	鍋島町八戸溝771	30-4378
28日(木)	佐賀保育園	多布施二丁目2-30	22-5670
29日(金)	若葉保育所	日の出一丁目19-1	30-2829
30日(土)	堀江保育園	神野西二丁目2-10	30-4713
	上記保育所(園)で受付未済の方	市 役 所	24-3151

\*11日~29日は、9:30~15:00、30日のみ 9:00~16:00まで受付。  
\*2月以降申し込みをされる方は、市役所1階3番窓口までお越しください。

### お問合せ先

各保育所(園)または⑧佐賀市栄町1番1号  
佐賀市福祉事務所社会課児童福祉係  
電話 24-3151 (内線384)



年頭のごあいさつ  
西村市長  
N C ラジオ  
1月1日(金)朝  
11:35~11:40  
健康爆被爆者一世の  
健康診断のお知らせ

原爆被爆者一世で受診を  
希望される方は63年1月16  
日までに佐賀保健所へ申し  
込んでください。  
お尋ねください。  
くわしくは佐賀保健所へ  
お問い合わせ下さい。

## おめでトーグ

(電話でおめでとう)

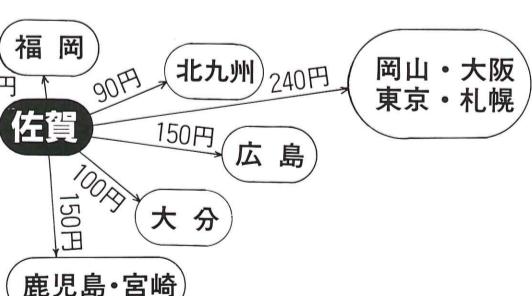
正月3が日は4割引

(60kmを超える地域へのダイヤル通話は、  
昼間でも約4割引です。)

お天気ダイヤル週間天気予報は 22-0177へ



### 3分間のダイヤル通話料金



NTT佐賀電報電話局

## お知らせページ

市役所の代表電話は24-3151です

### なごやかに佐賀市音楽祭



曲を披露しました。  
合唱の部には、本庄小学校・附属小学校合同合唱団、若楠少年少女合唱団、佐賀市中学校合唱団が参加。

合奏の部では、白鳴幼

稚園、勧興小学校、成章

中学校、城南中学校、昭

栄中学校、城東中学校、

佐賀高等学校、佐賀北

高等学校の各吹奏楽部、

それに佐賀市民吹奏樂團、

佐賀大学管弦樂團が演

奏、満席の聴衆を魅了し

ました。また、本年もよ

ろしくお願いします。

曲を披露しました。

合唱の部には、本庄小

学校・附属小学校合同

合唱団、若楠少年少女合唱

団、佐賀市中学校合唱

が参加。

合奏の部では、白鳴幼

稚園、勧興小学校、成章

中学校、城南中学校、昭

栄中学校、城東中学校、

佐賀高等学校、佐賀北

高等学校の各吹奏樂部、

それに佐賀市民吹奏樂團、

佐賀大学管弦樂團が演

奏、満席の聴衆を魅了し

ました。また、本年もよ

ろしくお願いします。

曲を披露しました。

合唱の部には、本庄小

学校・附属小学校合同

合唱団、若楠少年少女合唱

団、佐賀市中学校合唱

が参加。

合奏の部では、白鳴幼

稚園、勧興小学校、成章

中学校、城南中学校、昭

栄中学校、城東中学校、

佐賀高等学校、佐賀北

高等学校の各吹奏樂部、

それに佐賀市民吹奏樂團、

佐賀大学管弦樂團が演

奏、満席の聴衆を魅了し

ました。また、本年もよ

ろしくお願いします。

曲を披露しました。

合唱の部には、本庄小

学校・附属小学校合同

合唱団、若楠少年少女合唱

団、佐賀市中学校合唱

が参加。

合奏の部では、白鳴幼

稚園、勧興小学校、成章

中学校、城南中学校、昭

栄中学校、城東中学校、

佐賀高等学校、佐賀北

高等学校の各吹奏樂部、

それに佐賀市民吹奏樂團、

佐賀大学管弦樂團が演

奏、満席の聴衆を魅了し

ました。また、本年もよ

ろしくお願いします。

曲を披露しました。

合唱の部には、本庄小

学校・附属小学校合同

合唱団、若楠少年少女合唱

団、佐賀市中学校合唱

が参加。

合奏の部では、白鳴幼

稚園、勧興小学校、成章

中学校、城南中学校、昭

栄中学校、城東中学校、

佐賀高等学校、佐賀北

高等学校の各吹奏樂部、

それに佐賀市民吹奏樂團、

佐賀大学管弦樂團が演

奏、満席の聴衆を魅了し

ました。また、本年もよ

ろしくお願いします。

曲を披露しました。

合唱の部には、本庄小

学校・附属小学校合同

合唱団、若楠少年少女合唱

団、佐賀市中学校合唱

が参加。

合奏の部では、白鳴幼

稚園、勧興小学校、成章

中学校、城南中学校、昭

栄中学校、城東中学校、

佐賀高等学校、佐賀北

高等学校の各吹奏樂部、

それに佐